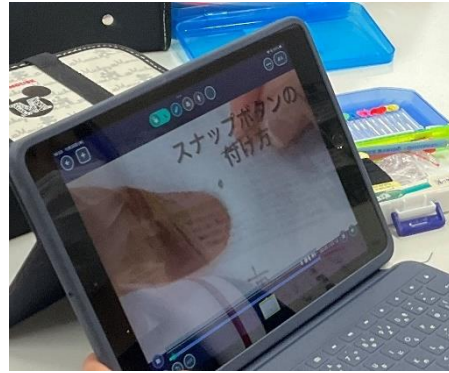
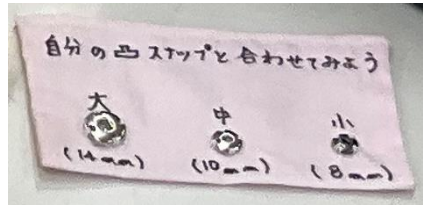


ねらいにせまるための指導の工夫



① 個に応じた指導・援助の工夫



「大中小の3種類のスナップボタン」「作業の流れが分かる自分目線の動画」「系の通るところが分かる大型模型」等、個に応じた指導・援助を工夫したことで、確実に技能を身に付けることができました。

② ICTを活用した生徒の学習状況の把握

少しわからないところがあります が、仲間と一緒に頑張ります！ (仲間と教えます。)	順調です！ (自分でできています。)	順調です！ (自分でできています。)
11月30日(木) 14:27	11月30日(木) 14:27	11月30日(木) 15:03
少しわからないところがあります が、仲間と一緒に頑張ります！ (仲間と教えます。)	先生来てください！！ (見てもらいたい)	少しわからないところがあります が、仲間と一緒に頑張ります！ (仲間と教えます。)
11月30日(木) 15:03	11月30日(木) 15:03	11月30日(木) 15:03
少しわからないところがあります が、仲間と一緒に頑張ります！ (仲間と教えます。)	Help! 全くわかりません。 (先生に教えてもらいたい。)	順調です！ (自分でできています。)
11月30日(木) 15:03	11月30日(木) 15:03	11月30日(木) 15:03

教師用のタブレットに送られた「順調です！」「仲間と一緒にがんばります」「HELP!」の選択肢をもとに生徒の学習状況を把握したことで、作業の順調な生徒への価値付けや支援を必要としている生徒へ適切に指導・援助を行うことができ、全員がねらいを達成することができました。